

あなたもフードドライブを始めてみませんか

～フードドライブの実施手順～

①実施場所、期間、食品の寄付先等を企画する

地区などのイベントや、「食品ロス削減月間(10月)」などに合わせて数日から数週間程度などスポット的に実施することができます。

食品の寄付先は、食品寄付の仲介を行う地域の「フードバンク」から探すと良いでしょう。そのほか福祉団体に直接寄付することもできます。

②食品の寄付先との事前調整

寄付先のフードバンク等に連絡し、寄付できる食品（賞味期限の残りなど）の条件や、食品の引き渡し方法、不足している食品などを確認します。

なお、寄付できる食品は、常温保存できる未開封の食品で、賞味期限が1～2か月以上残っているものとするところが多く、引き渡し方法は寄付先まで届けるのが一般的です。（寄付先により受入条件等は異なります）

③地区などへの周知

チラシ、ポスター等でフードドライブ実施の周知をします。その際に、受付可能な食品などの注意事項や回収した食品の活用方法を合わせて周知します。

④フードドライブの実施

【用意するもの】食品回収ボックス(ダンボールなど)、受付机、案内掲示、計量器 等
※寄付者の名前を記録する場合は、受付用紙、筆記用具等も用意する必要があります。

⑤集まった食品を集計する

集まった食品の数量、重量などを集計し、必要に応じて写真撮影しておきます。
集計結果は、地区への報告などに活用できます。

⑥集まった食品をフードバンクへ届ける

【参考】過去の町でのフードドライブ実施例

①実施場所等の企画

令和4年1月28日(金)に町保健センター2階研修室で実施しました。

②寄付先との調整

フードバンク湘南や大磯町社会福祉協議会と相談し、右のチラシのように募集食品や受入要件を決めて周知しました。

③周知方法

広報おおいそ、ホームページ、公共施設掲示板、大磯駅掲示板、ライフビジョン



④フードドライブの実施

右の写真のように会場を設営し、職員2名で対応しました。

⑤集まった食品の集計

505品210.66kgの食品の寄付がありました。

⑥フードバンクへの持込み

寄付いただいた食品を分けて、フードバンク湘南と大磯町社会福祉協議会に届けました。

